

韓国国立済州大学校に交流推進室を設置



韓国国立済州大学校交流推進室設置に伴う銘板上掲式
(左：齋藤学長 右：高 総長)



開設式典記念撮影

11月2日(木)、韓国国立済州大学校において、「長崎大学 - 国立済州大学校交流推進室」設置記念式典が齋藤 寛長崎大学長、松岡數充理事、石田正弘生産科学研究科長、中田英昭水産学部長及び国立済州大学校高 忠錫(Koh Choong Suk)総長、金 姫烈(Kim Hi Youl)教務所長・国際交流室長、両大学の教員計26名、本学生産科学研究科大学院生21名、済州島在住の長崎大学卒業生5名、短期留学生2名など80余名が列席して行われました。「長崎大学 - 国立済州大学校交流推進室」は、その名前が示す通り両大学間の研究及び教育面における交流をさらに発展させることを目的として両学長の合意の下に設置されました。交流推進室は、国立済州大学校本部横の大学院棟3階の1室を同校が交流推進室設置のために提供し、来年度初頭の業務開始に向けて準備作業を進めています。

18時より交流推進室前で、まず松岡理事によるこれまでの経過説明、ついで齋藤学長、高 総長の祝辞に続いて、銘板上掲式が執り行われました。記念式典の後、同校内の「Global House」で約80名が参加して、過去10年余にわたり本学生産科学研究科の航海実習を中心に行われてきた実習に対する同校の協力と好意への返礼とともに、交流推進室の設置を記念して祝賀会が行われました。

交流推進室は、両大学共同研究プロジェクトの一環として位置付けられ、プロジェクトマネジャーの国立済州大学校海洋科学大学李 竣佰(Lee Joon Baek)教授が責任者となるほか、本学生産科学研究科1999年修了生である金 亨信(Kim Hyeung Sin)博士が室員として業務にあたります。

「長崎大学 - 国立済州大学校交流推進室」の業務としては、研究面では水産・海洋及び工学を中心とした全ての分野における共同研究の推進、日本及び韓国における水産・海洋関係研究者リストの作成、共同海洋調査及び船舶相互利用の促進、客員教授の招聘及び派遣などが、また教育面では、大学院生および学部学生のための情報提供、さらにはシンポジウム開催のための準備・調整業務などが挙げられます。

ボーダーレスの世界が目前に迫った21世紀において、アジア各国との人材及び情報の交流推進の重要性はかつてないほど高まっています。交流推進室はアジアの中で長崎大学が占める地歩を確かなものにし、さらに発展していくため大きな使命を担っているのです。

長崎大学 - 国立済州大学校交流推進室の連絡先：電話+82-64-754-2429(韓国)

(環東シナ海海洋環境資源研究センター)